

さんじゅうにけんすじかぶと
三十二間筋兜

◇ 指定日 平成21年5月21日

◇ 所在地 腹帯

◇ 所有者 個人

三十二間筋兜は、南北朝～室町時代(約670年～550年前)に製作されたものです。

すじかぶと
筋兜は、細長い鉄の板を接ぎ合わせ、その縁を折り返して筋を立てた兜です。

このような兜は、鎌倉時代の終わり頃から江戸時代まで作られていました。

新しいものほど筋の数が多くなり、筋が多いほどより頑丈なつくりになります。

兜の前後方向の径は29.4cm、高さ19.7cm、重さ1,870gとなっています。

